

6月

ETソフトウェアデザインロボットコンテスト関東地区大会モデル部門受賞 ～全国大会進出

2007年6月30日～7月1日に開催されたETソフトウェアデザインロボットコンテスト（ETロボコン）関東地区大会において小倉信彦准教授の指導のもと、環境情報学部情報メディア学科小倉研究室の高橋和晃、長谷川稔、市川清美、本多祐美子および、諏訪研究室の佐藤裕樹の参加する大学合同チーム（チーム名「くろわっさん」および「ペンギンの輪舞」）が、モデリング部門優勝およびモデリング部門3位を受賞いたしました。また、走行部門での成績により、2チームとも全国大会に進出いたしました。小倉研究室所属学生は、昨年度、および一昨年度のETソフトウェアデザインロボットコンテストでも受賞実績があります。

社団法人組み込み技術協会（JASA）主催のETロボコンは「組み込みソフトウェア」分野における実践的な技術教育を狙いとした、レゴブロックの車体で決められたコースを自律走行する競技です。同一のハードウェア（車体）のもと、UML等で分析・設計したソフトウェアの開発技術を競うコンテストです。



表彰式の様子と賞状



コースを疾走する走行体



モデルワークショップでの発表会の様子

7月

「ICTによるニュータウンの街作り拠点構築」が現代GPに採択されました

環境情報学部では、学生に対する情報教育を充実させるとともに、地域にも貢献することを目的に「ICTによるニュータウンの街作り拠点構築」を文部科学省の現代GPに申請し、採択されました。

本学部が立地する港北ニュータウンは開発当初から住民参加型の街づくりが進められ、環境保全、防災、育児支援などが、住民による街づくり活動として行われています。しかし、そうした活動は個別に行われ、それぞれの住民が持つ情報・知識・能力を集約する場がありませんでした。この問題を解決するために、本取組では、まず、web2.0系の技術を核としたICTによる「情報共有と人的交流の場」を学生主導でインターネット上に構築します。また、そうしたシステムを利用した地域のフィールドワークを正規科目の授業や住民とのワークショップなどの場で行い、そこで特定された街づくりの課題の解決に向けて学部として取り組みます。



学生によるワークショップ



地域のNPOの方の講演

8月 SSL-VPNサービス開始

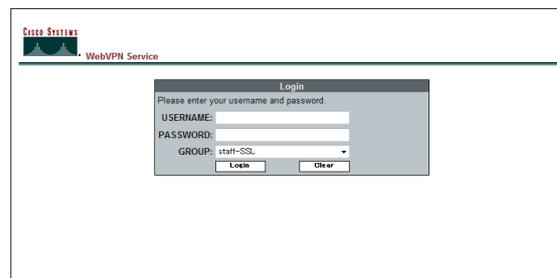
2007年8月以降、VPNの利用方法として、現状のクライアントソフトをインストールして接続する方法に加え、Webブラウザ*から接続する方法が新しく追加されました。

WebブラウザからVPNに接続することにより、ソフトウェアのダウンロードやインストールを自動的に行うため、より手間をかけずにVPNが利用できるようにサービスが変更されています。(既存のクライアントソフトを使用して接続することも可能です)

また、リプレイス以後は教職員に限り、キャンパス外からVPN接続を行うことで、Zドライブなどにアクセスできるようになりました。

*制限事項

- ・ Microsoft Internet Explorer (バージョン7を除く)のみ動作します。
- ・ Internet ExplorerのActiveXを有効にする必要があります。
- ・ WindowsXP、Windows2000のみ対応しています。(Windows Vistaには対応していません。)



Web VPN Service教職員ログイン画面

8月 演習室等の大規模リプレイス

2007年8月の演習室等のリプレイスでは、アカウント情報の統合管理システムの導入によりUNIX系及びWindows系システムのアカウント管理を一元化することが可能となりました。また、大容量の専用ファイルサーバーを導入することによりクライアントPCからの安定した大容量のファイル転送にも対応できるようになっています。さらに、大規模な障害発生におけるデータ損失に備え各サーバーに対しバックアップ統合管理システムを導入することにより速やかな復旧が可能となっています。各教室の教員卓にはペンタブレット大型ディスプレイが備え付けられており、電子黒板としての機能や教室連携授業時のリアルタイム手書きコンテンツ配信が行えるようになりました。

メディアホールでは、クライアントPCに富士通のWSであるCELSIUSとAppleのMac Proを採用し、動画処理、画像解析、統計計算等の大きな処理能力が必要とされる作業もストレスなく対応できるようになっています。また、各種メディアに対応できるようDVDドライブ (DVD±R/RW、DVD-ROM)、各種コンパクトカード対応カードリーダー等を備えユーザの利便性を図っています。ユーザのマルチメディアデータ作成作業時には、大画面ディスプレイによる2画面出力や大型プロッター等の設備によりスムーズな作成環境を実現しています。



サーバー室内ファイルサーバー



メディアホール学生用PC (Windows、Mac)

8月～9月 オーストラリア研修でのWebレポート

2007年8月20日～9月2日の期間中に24名の学生がオーストラリア熱帯雨林復元フィールド研修に参加しました。学生は日中に講義やフィールド見学等がぎっしり詰まったスケジュールをこなし、夕食後の時間を使って活動内容をWeb上に公開するためのWebレポートや報告会で使用する発表資料を作成します。

しかし、Webページ作成ソフトやPowerPointの使用に慣れていないため、作業が深夜にまで及び、睡眠時間を削らなくてはならないことが問題となっていました。

そこで今回は、Webレポート用のカスケードスタイルシートとHTMLテンプレートを用意し、エディタのみでWebレポートが作成できるようにしました。また、事前にWebレポート作成方法とPowerPointの使用法の講義と演習を行ない、提出課題を綿密に添削指導しました。

その結果、レポートの内容を十分吟味する時間を取ることができ、オーストラリア研修の充実したWebレポートが完成しました。

完成した
Webレポート



熱帯雨林のCurtain Figにて



9月 Web Mailサービス開始

2007年9月よりWeb Mailサービスを開始しました。Web Mailの導入は、大学で提供していたメールサービスの利用学生が極端に少ないことから検討されました。

Web Mailを導入することにより、学外からのメール送受信を簡易化し、利用を促進することが可能になります。従来のメールソフトによる起動方法とは違い、Webブラウザ (Internet Explorer等) でメールの閲覧、メールの作成、送受信等が行えます。ブラウザがインストールされているパソコンであれば、パソコンにメールソフトをインストールすることなくどこからでも簡単にメールをチェックできます。



武蔵工業大学 環境情報学部 Web Mail System
ログイン画面



Web Mailホーム画面

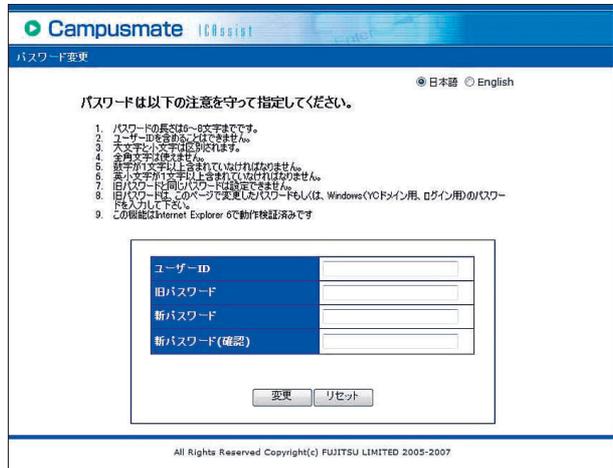
9月 アカウント統合

2007年8月に実施したリプレースにおいて、統合アカウント管理システム(IC Assist)を導入しました。リプレース以前は表向き一つですが、YC-W系アカウント（YCドメイン、Windows用）とYC-U系アカウント（電子メール、UNIXサーバ用）の2種類のアカウントを使用していました。パスワードもそれぞれに設定されていて、毎年6月に行われるパスワード一斉変更の際には2種類のパスワードをそれぞれ違う方法で変更する必要がありました。そのため、どちらか一方のみを変更して安心してしまう学生が多く、アカウントロックの対象者が多数いました。

2007年9月以降はパスワード変更方法も統一され、以前よりも簡単にスピーディーに変更することが可能となりました。



旧YC-W系パスワード変更画面



新パスワード変更画面



旧YC-U系パスワード変更画面